



河野 理恵子

Viola



5歳よりヴァイオリンを始め、北鎌倉女子学園高校音楽科在学中に、ヴィオラに転向する。東京芸術大学音楽学部器楽科ヴィオラ専攻卒業。

ヴァイオリンを広瀬八朗、中嶋郁子、海野義雄、ヴィオラを浅妻文樹、兎束俊之、百武由紀、店村眞積、クロード・ルローン各氏に師事。ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院夏季講習会、ニューヨークに於いて、ポール・ドクトール氏に学ぶ。第11回芸大室内楽定期演奏会、第90回神奈川新人演奏会に出演。関内ホールにて、デビューリサイタルを開催。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団に在籍、首席奏者も務めた後フリーとなる。その後、オーケストラの客演首席、各地でのリサイタルを行い、室内楽奏者としても音楽祭、TV、ラジオ、ライブ、DVD、CD録音等に参加している。

自身のユニットとしてリリースしたCDは、O.K.S.Q.のメンバーとして「imagenes y imagenes」、マンドリンと弦楽トリオで「冬のエレジー」。

ヴァイオリンとヴィオラのデュオ「Mellow Ry」、国際派ピアニスト、リチャード・クレイダーマン氏、日本ツアーのサポートメンバーを務める等、活動は多岐に渡る。

現在、東京室内管弦楽団、首席奏者。横浜バロック室内合奏団、クライネス・コンツェルトハウス弦楽四重奏団のメンバー。日本クラシック音楽コンクール全国大会の審査員、茨城大学管弦楽団のトレーナーを務める等、指導にも力を注いでいる。埼玉・アーティストボランティアバンク会員。



藤元 高輝

Guitar

これまでに村治昇、新井伴典、荘村清志、江間常夫、アンスガー・クラウゼの各氏に師事。作曲を塩崎美幸、植田彰、伊左治直の各氏に師事。指揮を本多優之氏に師事。

2014年作曲家今村俊博とのパフォーマンスデュオ「s.b.r.」結成。

2008年 ヴァイカーズハイム国際ギターフェスティバル(ドイツ)コンクール部門第1位。

2011年 東京国際ギターコンクール第1位。

2016年、武満徹没後20年を記念したCD「武満徹ギター作品集」を発表。

2019年 ハインスベルク国際ギターコンクール(ドイツ)第1位。同年、19世紀のオリジナル楽器を使用した「フェルナンドソルギター作品集」。

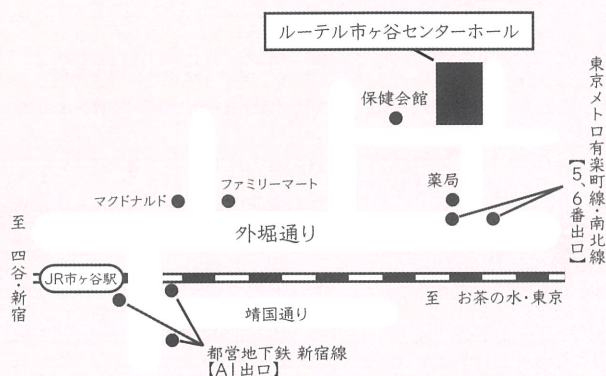
2021年にはラヴェル「鏡」より道化師の朝の歌のギター独奏編曲をPrim Musikverlagより出版。

趣味は囲碁。



ヴィオラのある風景

Vol.5



会場への交通案内

- JR総武線 市ヶ谷駅地上出口 徒歩7分
- 都営地下鉄新宿線 市ヶ谷駅A1出口 徒歩7分
- 東京メトロ 有楽町線 市ヶ谷駅5・6番出口 徒歩2分
- 東京メトロ 南北線 市ヶ谷駅5・6番出口 徒歩2分